

metamessage

メタメッセージ

作・振付・演出……………三浦太紀

……メッセージの裏に隠された、もうひとつのメッセージ。

BONANZAGRAM 2016

平成28年度(第71回)文化庁芸術祭 非 参加公演

10.19 [水] 16:30/19:30 *開場30分前

俳優座劇場

tel.03-3470-2880 *大江戸線・日比谷線「六本木」

全指定席5,000円

お問合せ : tel/fax 042-376-6673 (村山)

tel/fax 042-316-3750 (ボナンザグラム)

e-mail bonanzagram@trad.ocn.ne.jp

dancers

櫻井マリ／水野知美／穴吹 淳／三浦太紀
次郎丸里沙／林 昶志

staff

照明：東原修／齊藤香

音響：渋谷正巳

舞台監督：依田直之

舞台監督助手：荒木真人

graphic：coppice

制作：村山香澄／BONANZAGRAM



BONANZAGRAM (ボナンザグラム) について

1995年4月、三浦太紀を中心に様々な表現活動の場…“何でも屋”的な発想から
(BONANZAGRAM)というユニットを結成。

以後、「裸になった王様」(95)、「73歩のMARCH」(96)、「ブレーメンの音楽隊 97」(97)。

1998年から「LE PETIT PRINCE」(98)、「ハーメルンの笛吹き男」(99)。

「HALLUCINATION…風」(00)、「Behind the mask」(01)、「The III dimension」(02)。

「じゅん・こしまだ」(03)をアートスフィア劇場にて連続公演。

「裸の王様／Nimby」(04 俳優座劇場)、「百花∞夢幻」Qualia」(05 アートスフィア劇場)。

06年には前年好評だった「Qualia」を再演すると同時に、

同じ曲目曲順で全く別の作品に仕上げた「Qualia…evolution」(俳優座劇場)を併演。

07年「ハーメルンの笛吹き男」(青山円形劇場)は、円形舞台とその客席裏側の通路までをアクティングエリアとし、

観客の正面のみならず背後でも踊られるダンスや、様々な方向から聞こえてくる楽器の音と

ダンサーの発する声のみで進行するという大胆な演出で再演。その後も毎年、

「Intermezzo」(08 東京芸術劇場中ホール)、「finite space 私たちの小さな船」(09 草月ホール)。

「Intention or Web…A side, B side」(2010 東京芸術劇場中ホール)。

「百花∞夢幻」(2011 日本青年館大ホール)、「Metamorphosis… 変身」(2012 草月ホール)では、

舞台上に山ほどのペットボトルをばらまき、ダンサーはそれを踏み潰しながら踊った。

「3R…私たちのブレーメン」(2013 草月ホール)では、加齢をテーマに。

「1961…閻魔帳の中身」(2014 草月ホール)では、それまで扱ってきた“近未来”や“老人”といったテーマを

通り過ぎ、ついに“地獄”へ突入。1961年に実際に起きた未解決のニセ札事件を通し、運命について考えた。

「モノクローム」(2015 草月ホール) 草月文化事業株式会社とコラボし、

巨大なオブジェを舞台の進行と共にダンサーが動かし、印象的な空間の創出に成功する。

(BONANZAGRAM)とは、文章の虫食い箇所当てはまる文字や語を埋めるクイズのこと。(BONANZA)には大当たり、大儲け、幸運などの意味がある…